

業務状況説明書

(平成31年4月1日から令和元年9月30日まで)

安城市水道事業

1 令和元年度上半期の状況

(1) 事業の概要

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して給水人口で1,003人(0.53%)の増加となっており、1日平均配水量は257m³の減少、有収水量は21,379m³の増加となっております。

区 分 \ 年 度	令和元年度上半期	平成30年度上半期	比較	
			増減	増減率(%)
給水人口(人)	189,899	188,896	1,003	0.53
1日平均配水量(m ³)	56,181	56,438	-257	-0.46
有収水量(m ³)	9,932,876	9,911,497	21,379	0.22

イ 建設改良事業

- ・前年度から繰越した18件の工事のうち、重要管路整備工事その2など15件が完了しました。
- ・市内に3箇所ある浄配水場で、地震防災施設緊急整備事業・浄水場施設整備事業にかかる工事を実施しています。
- ・市内各所で、下水道事業関連配水管布設事業・老朽管布設替事業・他事業関連配水管布設事業・給水申込みによる配水管布設事業などにかかる工事を実施しています。

(2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

収入				支出			
科目	予算現額	執行額	執行率(%)	科目	予算現額	執行額	執行率(%)
事業収益	3,284,000	1,561,624	47.55	事業費用	3,202,000	788,986	24.64
営業収益	3,022,496	1,547,068	51.19	営業費用	3,133,343	779,915	24.89
営業外収益	261,502	14,539	5.56	営業外費用	66,147	8,460	12.79
特別利益	2	17	850.00	特別損失	2,410	611	25.35
				予備費	100	0	—

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

収入				支出			
科目	予算現額	執行額	執行率(%)	科目	予算現額	執行額	執行率(%)
資本的収入	530,000	60,571	11.43	資本的支出	3,073,000	657,889	21.41
企業債	0	0	—	建設改良費	2,568,937	606,394	23.60
一般会計出資金	205,038	0	0.00	投資	400,000	0	0.00
他会計負担金	35,349	343	0.97	企業債償還金	104,063	51,495	49.48
工事負担金	262,603	60,228	22.94				
国県支出金	27,000	0	0.00				
固定資産売却代金	10	0	—				

2 平成30年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事項	平成30年度	平成29年度	比較	
			増減	対前年度比率
総人口(A)	189,331 人	188,693 人	638 人	100.34 %
給水人口(B)	189,223 人	188,541 人	682 人	100.36 %
給水戸数	75,397 戸	74,579 戸	818 戸	101.10 %
普及率(A)／(B)	99.94 %	99.92 %	0.02 %	—
総配水量	20,399,345 m ³	20,455,999 m ³	-56,654 m ³	99.72 %
1日平均配水量	55,889 m ³	56,044 m ³	-155 m ³	99.72 %
県水受水量	14,667,800 m ³	14,346,870 m ³	320,930 m ³	102.24 %
自己水量	5,731,545 m ³	6,109,129 m ³	-377,584 m ³	93.82 %
有収水量	19,584,542 m ³	19,627,293 m ³	-42,751 m ³	99.78 %
有収率	96.01 %	95.95 %	0.06 %	—
供給単価(1m ³ あたり)	141.34 円	141.20 円	0.14 円	100.10 %
給水原価(1m ³ あたり)	121.79 円	121.30 円	0.49 円	100.40 %

イ 建設改良事業

主な事業として、

- ・地震防災施設緊急整備事業では、北部浄水場着水井及び薬品混和池建設や、重要管路整備工事(φ300～600、L=1,378.9m)を実施しました。
- ・避難所配水管路耐震化事業では、桜井町で1箇所(φ50～φ100、L=523.9m)を実施しました。
- ・緊急輸送道路配水管耐震化事業では、横山町ほか3箇所(φ50～φ150、L=1,762.5m)を実施しました。
- ・下水道事業関連配水管布設事業では、平貴工区ほか5箇所(φ50～φ150、L=3,018.8m)を実施しました。
- ・他事業関連配水管布設事業では、榎前工業団地ほか5箇所(φ50～φ150、L=1,875.1m)を実施しました。
- ・老朽管布設替事業では、日の出町ほか2箇所(φ50～φ150、L=1,590.2m)を実施しました。
- ・浄水場施設整備事業では、北部浄水場の3号ポンプと受変電設備の更新などを実施しました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収支及び支出

平成30年度における事業収益は3,177,064千円で前年度と比較して0.26%(8,111千円)増加しました。これは、給水収益や受託工事収益が減収となったものの、官公庁工事負担金や長期前受金戻入の増収があったことが主な要因です。

また、事業費用は、2,651,765千円で前年度と比較して0.28%(7,389千円)増加しました。これは退職給付費や支払利息等の減額があったものの、南部浄水場1号ろ過機ろ過材取替業務による委託料の増額、受水費や減価償却費等が増額したことによるものです。

こうしたことにより、純利益は前年度と比較して721千円増加し525,299千円となりました。

イ 資本的収入及び支出

平成30年度における資本的収入は497,399千円、資本的支出は2,503,726千円で、差引き2,006,327千円の資金不足が生じたため、損益勘定留保資金等で補填しました。

主な事業では、北部浄水場着水井及び薬品混和池建設や、緊急輸送道路や重要管路における老朽管の布設替や耐震化、土地区画整理事業や下水道事業などと同調して配水管の布設を行いました。

収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円)

収入			支出		
科目	決算額	構成比(%)	科目	決算額	構成比(%)
事業収益	3,177,064,420	100.00	事業費用	2,651,765,049	100.00
営業収益	2,895,114,620	91.13	営業費用	2,623,865,658	98.95
営業外収益	281,867,420	8.87	営業外費用	26,852,661	1.01
特別利益	82,380	0.00	特別損失	1,046,730	0.04

資本的収入及び支出(税込)

(単位:円)

収入			支出		
科目	決算額	構成比(%)	科目	決算額	構成比(%)
資本的収入	497,399,145	100.00	資本的支出	2,503,726,072	100.00
一般会計出資金	174,756,880	35.14	建設改良費	1,967,616,620	78.58
他会計出資金	24,187,440	4.86	投資	400,000,000	15.98
工事負担金	248,454,825	49.95	企業債償還金	136,109,452	5.44
国県支出金	50,000,000	10.05			